

[062] 語文研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/10290>

出版情報：語文研究. 62, 1986-12-10. 九州大学国語国文学会
バージョン：
権利関係：

え覚えるに違いない。

以上、概括的な紹介に終始したが、最後に気付いた点一つを記して任を終えさせて頂く。有賀長伯(29頁)は、世代的に見ても、望月長好でなければなるまい、恐らく勘違であろう。

(昭和六十一年七月十日 新典社刊 二九五頁 一五〇〇円)

執筆者紹介

徳満澄雄 高知女子大学教授
板坂耀子 福岡教育大学助教授
田中葉子 九州大学大学院(修士課程)
木部暢子 福岡女学院短期大学講師
江口泰生 九州大学大学院(博士課程)
鄭兆宏 九州大学大学院(博士課程)
山下和弘 九州大学大学院(修士課程)
迫野虔徳 九州大学文学部助教授
井上敏幸 福岡女子大学教授

規 定

- 一、投稿は原則として九州大字国語国文学会会員に限るが、それ以外の方に投稿を依頼することもある。
- 二、投稿原稿は四百字詰原稿用紙三十枚内外を一応の規定とし、その際、二枚程度の要旨を添付されたい。
- 三、原稿の採否等については運営編集委員会に一任されたい。
- 四、刊行は年二回(春・秋)を原則とする。
- 五、刊行会費は現在年額維持会員四千円(各号一部配布)、通常会員二千円(各号一部配布)とする。
- 六、執筆者には別に二部を贈呈し、希望者には抜刷を実費で分ける。
- 七、会員以外の購読者は毎号ごとに誌代を納められたい。